

ボッコローニ大学 留学体験記



国際・公共政策大学院

公共経済プログラム 2019 年修了

2018 年 9 月～2019 年 2 月 派遣

MN さん



海外で勉強してみたい！そんな漠然とした思いを高校生のときから持っていたのですが、他にもやりたいことが沢山あった私は、なかなか長期留学に踏み切れずにいました。しかし一橋大学では留学情報が身近にあり、また大学院の教授陣や事務の方が親身に対応してくださったことで、あっという間に留学を決断することができました。

留学先にはイタリアの大学を選び、授業や学生同士の会話はすべて英語でしたが、ホームステイしていたこともあり、普段の生活はイタリア人の温かな人柄に触れることができ大変充実していました。

ヨーロッパで過ごす、その多様性に驚かされます。人種、文化、歴史、どれをとっても複雑で一筋縄に理解することはできません。その奥深さに魅了されたこともあり、外務省に入省後、仏語を選択し現在はフランスに留学中です。イタリアのホストファミリーや友人たちとは今も連絡を取り合い、先日再会を果たしました。



留学は、学業面だけでなく自らの人生の幅を広げ、奥行きを与えてくれます。一度きりの人生、少しでもやってみてみたいと思ったら、飛び込んで、五感を使って、考えて、苦しんで、思い切り楽しんでみるのが大切だと思います。その経験がご自身や周りの方の人生だけでなく、きっと日本や世界の未来をよりよくすることにつながります。改めて一橋大学関係者の皆様に感謝申し上げるとともに、後輩たちが一步を踏み出してくれることを心から願っています！

